

教科・科目	芸術(音楽)・鑑賞による教養音楽	2単位	対象学年・組・区分	3年必修選択
教科書 ・副教材等	プリント等	教科 担当者	芸術(音楽)科 山崎	

目 標	一学期	さまざまな音楽の特徴を理解し、音楽的視野を広げる。
	二学期	音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他芸術との関わりを探求する。
	三学期	音楽の創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

学期	月	単元	時間	学習内容
一 学 期	4月	音楽の要素と組立て 音楽と映像	24h	音楽の基本的な要素と様式、テクスチャーなどについて学び、鑑賞活動のポイントについて知る。
	5月			映像と結びついたさまざまな音楽作品を知り、音楽が他の芸術と結びついたときの効果を学ぶ。
	6月			
	7月			
二 学 期	9月	音楽と歴史 音楽と絵画 音楽と物語	28h	各地域の音楽とその特徴を学ぶ。音楽の歴史的背景とその特徴を知り、音楽がどのように形成されていったかを学ぶ。
	10月			音楽と絵画や物語が連動して一つの芸術を作った特徴的な時代や地域を、実際の絵画作品等から背景を理解する。
	11月			
	12月			
三 学 期	1月	まとめ	18h	鑑賞の活動を振り返る
	2月			
	3月			

評価の観点 ・方法	〔評価の観点〕 1.知識・技能: 楽曲の文化的・歴史的背景や曲想との関わり及びその多様性について、音楽活動を通して理解している。音楽表現するために必要な鑑賞能力、創作の技能を身に付けている。 2.思考力・表現力・判断力: 楽曲を多角的に解釈することができる。社会における音楽の役割、価値を考えて創造的に表現できる。 3.主体的に学習に取り組む態度: 音楽を生活や社会に活かそうとし、主体的に音楽学習に取り組もうとする。
	〔評価の方法〕発表、出席状況、授業態度、レポート、提出物を総合して評価する。